

2010年舞洲・阪奈耐久シリーズ戦競技規則書

2010年2月5日

-----競技規則-----

はじめに

ルールやマナーを守る事を前提とし、舞洲インフィニティサーキット・スポーツカート阪奈の定める競技規則書に基づいて開催されます。

心身共に健康な方で、「安全」と「楽しさ」を追求出来る方、「非難」「中傷」「怒らない」の3原則を守る方ならどなたでも参加できます。

尚、競技規則書は最後までお読み頂き熟知して下さい。

参加について

1) 参加条件

舞洲インフィニティサーキット、スポーツカート阪奈、クイック浜名、グランプリカート三木の会員又はそれと同等と舞洲インフィニティサーキット、スポーツカート阪奈が認めた場合。

舞洲インフィニティサーキット、スポーツカート阪奈においてレンタルカートを安全にドライブ出来る方。

以前に舞洲インフィニティサーキット、又はスポーツカート阪奈においてレースに参加したことがない場合は会員限定ミニレースに2回以上参加したことがある方

～ 全てを満たしている方

又は、舞洲インフィニティサーキット、スポーツカート阪奈が認めた場合

2) チーム人員

1チーム2名～3名とする。ピットクルーは2名まで登録可能。

3) 参加費(エントリー費)

1チーム 30,000円(1チーム2名～3名)

と、スポーツ保険代 年間 2,100円(4月～翌年3月迄)又はスポット保険代 500円

スポーツ保険はイベント当日より30日以上前までに申込みが必要

ピットクルーの方も保険が必要

4) チーム名・チーム員変更について

チーム名は10文字以内とする。顔文字等は認めない。

チーム名の変更はシリーズ戦を通して1度のみ認める。その場合、エントリー時に申請すること。

チーム員は2～3名までとし、シリーズを通して1名のみ1度だけ変更出来る。その場合もエントリー時に申請すること。

5) シリーズポイントについて

各レースにて総合順位の上位3チームが表彰となり下記のシリーズポイントがチームに加算される。チーム名の変更は1回のみとします。

	1位	2位	3位	4位	5位	6位	7位	8位	9位	10位	11位～15位
シリーズポイント	15	13	11	9	7	5	4	3	2	1	0

シリーズ獲得ポイントが同一の場合は下記の順にシリーズ順位付けを行っていく。

「シリーズ戦中の最高順位、及び回数 最終戦順位の順番で決定する。」

シリーズ戦の表彰式は年末に行われる8時間耐久レース時(19時頃)に実施する。

6) 雨天時の競技について

台風及び余程の悪天候でない限り競技は続行する。

(競技中止になった場合は、後日延期とし大会本部側より延期日を発表する。)

天候によりスケジュールやセッションが変更になる場合がある。

競技中で雨天もしくは路面コンディションがウエットの場合でもスリックタイヤで競技を続行する。

7) 参加申込み手順(エントリー手順)

大会当日の1ヶ月前の日曜日12時00分よりエントリーを開始し、大会当日1週間前までにエントリーチーム数が8チーム未満の場合は大会中止とする。

エントリー開始日程は大会当日2ヶ月前に発表する。

エントリー開始日は現金のみ対応する。振込みでのエントリーは翌日より可能とする。その場合、FAX又は郵送にてエントリー用紙を主催者に提出し、振り込む前に主催者に確認を取ること。

振込先 (ユ)モーターパーククイック 普通 620332 浜松信用金庫 西山支店

エントリー開始時において主催者が募集するチーム数を超えた場合は抽選となる。

エントリー出来なかったチームはキャンセル待ちとして登録出来る。その場合、名前と連絡先のみでの登録で、参加費やエントリー用紙等は必要としない。

エントリーする際は必ず最低2名分の「エントリー用紙」と「参加費用全額」と「スポーツ保険未加入の場合はスポット保険代」を必要とする。

代表者又は代理人でのエントリーも可能だが、必ず最低2名分のエントリー用紙と参加される方の会員証(当社以外の会員の方の代理の場合は必ず必要)を持参すること。

代表者のみのエントリー用紙では受け付けない。

エントリーする際と大会当日は必ず会員証を持参すること。

8) 参加申込みキャンセルについて

エントリーをキャンセルする場合はキャンセル料金が発生する。

エントリーをキャンセルする場合は、受付完了時に渡される「受理書」と「キャンセル申請書」を主催者に提出すること。

「受理書」と「キャンセル申請書」を受け取った日をキャンセル日とする。

電話のみでのキャンセルはトラブルを避ける為、受け付けない。

返金はキャンセル料金の差額を店頭にて返金する。

振込みでの返金を希望される場合は更に振込手数料を差し引いた金額を返金する。

キャンセル料金	
保険代は返金出来ません。	
大会当日の15日前まで	10%
大会当日8日前まで	50%
大会当日前日まで	90%
大会当日	100%

9) 参加にあたって

レーシンググローブ・レーシングシューズ・レーシングスーツ・フルフェイスヘルメットが望ましい(原則)が皮膚の露出が少なく運転に支障をきたさない服装(バイザーのあるヘルメット、皮膚の露出がなく操作に支障をきたさない長袖、長ズボン、手袋、運動靴)であればレースに参加できる。

半袖・半ズボン・サンダルでは参加出来ない。

ヘルメット・グローブはレンタルに限りがありますので、各自で用意すること。用意出来ない場合はエントリー時に申込が必要。先着順となる。

雨天の場合はレインコートが必要となる為、各自で用意すること。レインコートのレンタルはありません。

サインボード・ストップウォッチはレンタルありませんので、各自ご用意下さい。サインボードはチームドライバーにピットインを知らせることで便利です。ストップウォッチは連続走行時間及びピツ

ト時間を確認することで便利です。

走行時は必ずヘルメットのあごひもを閉め、服装も止めれる箇所は全てきちんと止めるようにして下さい。

10) 競技中について

レース中にスピン、コースアウトした場合オフィシャルは手を貸せません。自力でコース復帰できない場合にはリタイヤもしくは車両回収の対象となります。

但し、女性及び中学生以下の参加者に関してはオフィシャルの手を借りてカートをコースまで戻すことができます。

カートから降りる場合は必ずエンジンを止めること。

セッション中の事故、又はアクシデントにより次のセッションでの走行に支障をきたすと判断した場合、そのセッションのリタイヤを命じる場合があります。

レースの運営を回収・修理の作業より優先して行います。修理・回収作業に対する抗議は一切受け付けません。

走行中、アクシデント等により車両にトラブルが出た場合は頭上に手で「×」印をして合図を行い、オフィシャルを呼んで下さい。オフィシャルが到着後車両点検を行い走行不可と判断した場合は**オフィシャルと一緒にピットまで戻って来て下さい**。ドライバー判断でのコース横断は一切認めません。**競技中、ドライバーとの無線及び携帯電話での通話は禁止とさせていただきます。**

11) 車両選択について

ゲートオープン時にクラブハウスに入ることが出来、速やかに「乗車申込書」を記入し、会員証を提示すること。

各チームで最初に乗車申込書を記入したドライバーを代表者とみなし、カート選択順のクジを引く。引いたクジはそのまま持参すること。

ドライバーズミーティング終了後、クジの1番から順に並び乗車するカートを選択していく。

持ち時間は1チーム10秒とする。

10秒経過しても車両を決定できない場合は最後尾に再度並ぶこととする。

決勝レースに乗車する車両がフリー走行及び予選にて故障し、修理不可能で乗車出来ない場合は予備車両より選択する。

但し、エンジンのタレ等では交換しないこととする。

車両の変更は全て主催者により決定することとする。主催者側より連絡がなければ、選択した車両で競技を続行とする。

イベントスケジュール

1) 競技内容は以下の通りとする。

	競技内容	時間(分)
1	フリー走行	20分
2	予選ヒート	
3	決勝レース	120分

尚、各セッションの競技時間に関してはエントリー状況や天候などの諸状況を加味し、大会本部の決定により変更する事がある。又、予選方法によっては予選時間を変更する。
変更があった場合は当日ドライバーズミーティング時に通達するものとする。

2) タイムスケジュール

	ゲートオープン及び受付開始 ゲートオープンまでクラブハウスに入れません。	8:00~	受付時に必ず会員証を提示して下さい。
	ドライバーズミーティング	8:45~	ピット前で行います。但し、天候等により場所を変更する場合があります。
	車両選択開始		クジの順に速やかに並んで下さい。
	フリー走行	9:30~	ドライバーズミーティング終了後、第1ドライバーは速やかに準備をして、車両に乗車して下さい。
	予選ヒート	10:00~	第1ドライバーは開始時間5分前までに準備をして、車両に乗車して下さい。
	決勝レース	11:00~	第1ドライバーは開始時間5分前までに準備をして、乗車して下さい。
	表彰式	13:30~	

天候やトラブル等でスケジュールが変更になる場合があります。予めご了承下さい。
出来るだけスケジュール通りに進行していきますが、スケジュールより早く進行できる場合は早めに行進していきます。ご協力の程よろしく申し上げます。
進行を妨げるような悪質な行為をされる方には、途中退場を命じる場合があります。

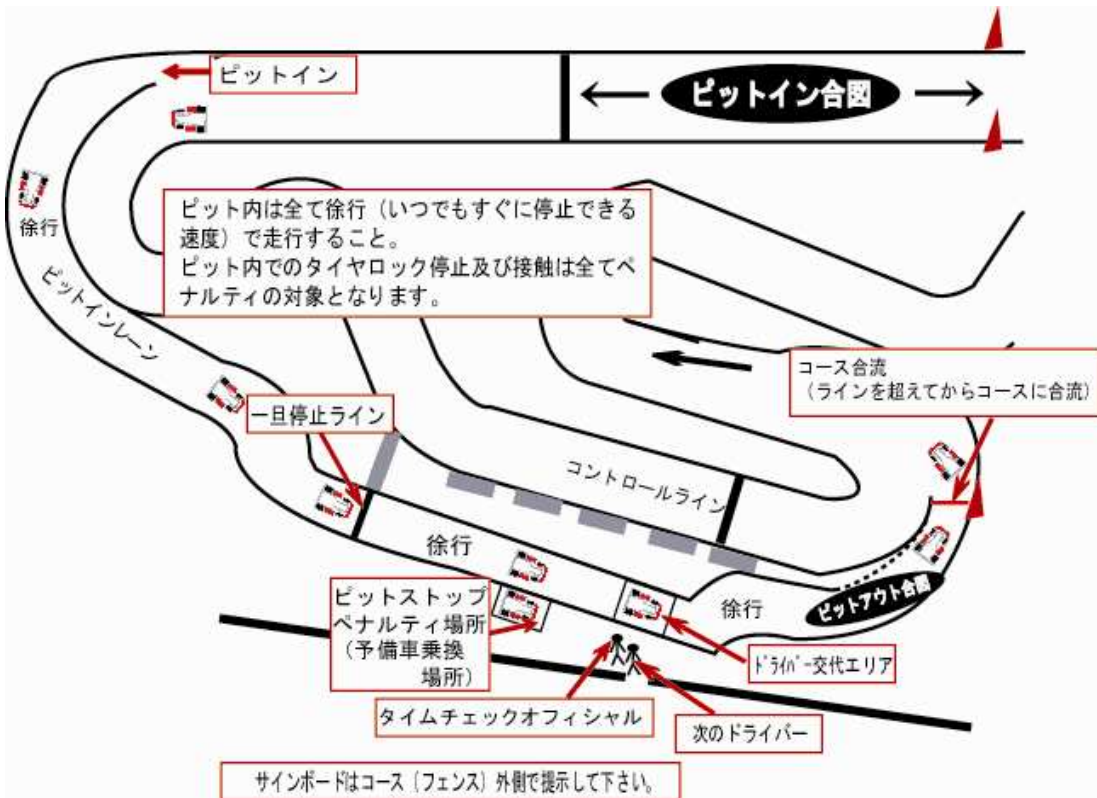
使用コースとピットについて

1) 使用コース (舞洲インフィニティサーキット)



黄旗解除線は、コース図の赤丸の3箇所

2) ピットについて



ピットは通常営業と同じ場所を使用する。

ピット内は徐行とし、いつでもすぐに停止できる速度で走行すること。

ピットイン出来る条件

- ドライバー交代の場合
- ペナルティを受けた場合
- 車両トラブルの場合
- 競技終了の場合
- 体調不良の場合
- 背あてのマットがずれた場合

以上の場合のみピットイン出来る。上記以外の理由は認めない。

ピット内は一旦停止線とドライバー交代エリアの2箇所停止する場所があり、必ず停止しないといけない。

停止する際にタイヤをロックさせての停止、又はピット内でのスピン・接触はペナルティの対象となる。

ドライバー交代エリアではエンジンを停止し鍵を抜く事。

参加選手並びに参加申込時に届出のあったピットクルー（2名まで）以外はピットへの立ち入りは出来ない。

ピットイン・ピットアウト時は必ず片手(左手)を上げてコース走行車に合図すること。

ドライバー交代の合図はピット内やコース内以外の場所で行う事。

無線機及び携帯の使用を禁止とする。

4) ピットインについて

ピットインする際は必ずバックストレートの赤いパイロン～黄旗解除線の間で**左手**をあげ、後方車両に合図をする。**ピットイン合図を行った車両は必ずピットに入ること。**

ストレートの後、黄色のゼブラゾーンを通り、耐久レース用ピットロード入口からピットインを行う。
タイヤ等に接触した場合はペナルティの対象となる。

5) ピットアウトについて

ピットアウトする際は、ピットアウトレーンを徐行すること。

ピットアウトレーンの赤いパイロン～コース合流ラインまでの間を通過時に**左手**をあげ、コース走行車両に対しピットアウトを必ず知らせること。

コースに合流する際は、必ずコース合流ラインを通過してからコースに合流すること。ピットアウト時は黄線内を通り、黄線が切れてからコースに合流する。

タイヤ等に接触した場合はペナルティの対象となる。

6) ドライバー交代方法について

ピットイン入口よりピットロードを徐行しピットインする。

ピットロード入口に進入する際は必ず安全を確認して行うこと。

ピット内タイヤバリアに接触した場合はペナルティの対象となる。

一旦停止線でカートを一旦停止させ交代エリアにカートを徐行で進める。

ピット内ではタイヤをロックさせての停止はペナルティの対象となる。

他の車両が一旦停止している際はその後ろにつき、前車が進んでから一旦停止線で停止し、前に詰めていく。

ピット内で他の車両に衝突した際は後方の車両にペナルティを課す。

交代はドライバー交代エリアに進入出来た車両のみ行うことが出来る。

一旦停止線より車両を進めて他の車両が交代している際は、エンジンを始動させたまま並ぶ。ドライバー交代エリアで停止したドライバーはエンジンを停止し、鍵を抜いて降車する。

抜いた鍵を持ってタイムチェックオフィシャルに鍵を渡し、交代を報告する。

次のドライバーはタイムチェックオフィシャルの横で待つておくこと。

オフィシャルがチェック次第、次のドライバーに鍵を渡す。

鍵を受け取った次のドライバーは車両に乗車しエンジンを始動させ、ピットアウトする。

交代する車両がドライバー交代エリアに停止した際、次のドライバーがタイムチェックオフィシャルの横に準備が出来た状態でいない場合は、交代遅延行為としてペナルティの対象となる。

7) ペナルティを受けた場合

ペナルティを受けたチーム（ブラックフラッグとカートN.Oを提示）は速やかにピットインし、一旦停止線で停止後ドライバー交代エリアで停止する。

エンジンを停止し鍵を抜いて降車し、タイムチェックオフィシャルの場所に移動する。

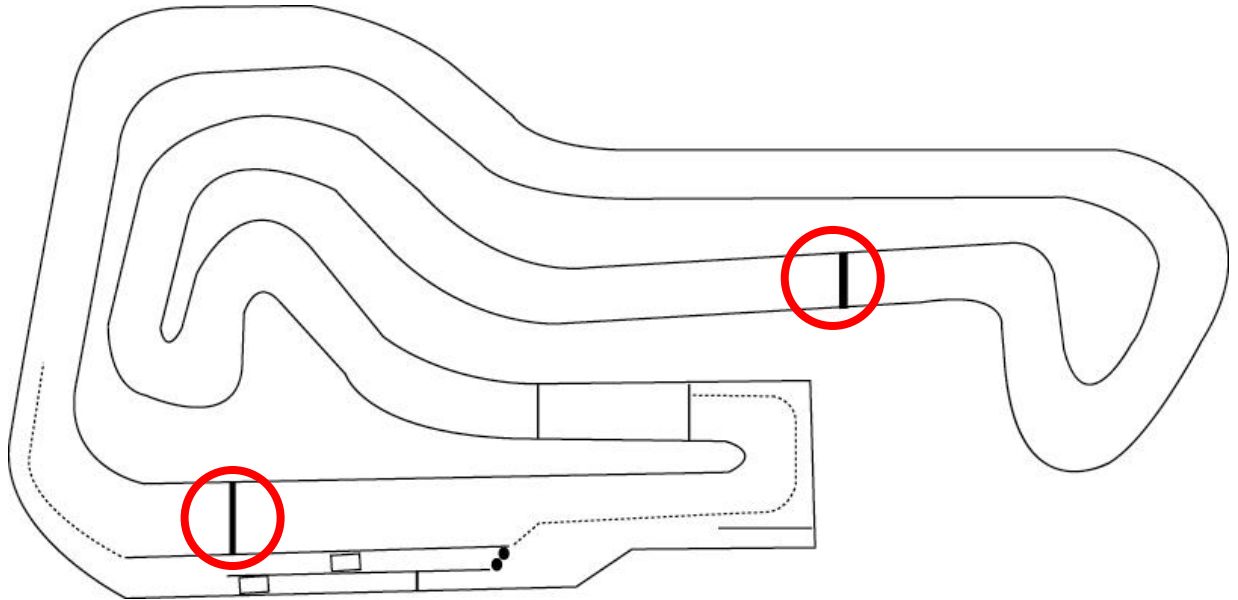
オフィシャルよりペナルティの説明をする。

説明が終了した後、カートに乗車しピットアウトする。

ピットストップペナルティの場合は、オフィシャルにより「ピットストップペナルティエリア」に誘導する。

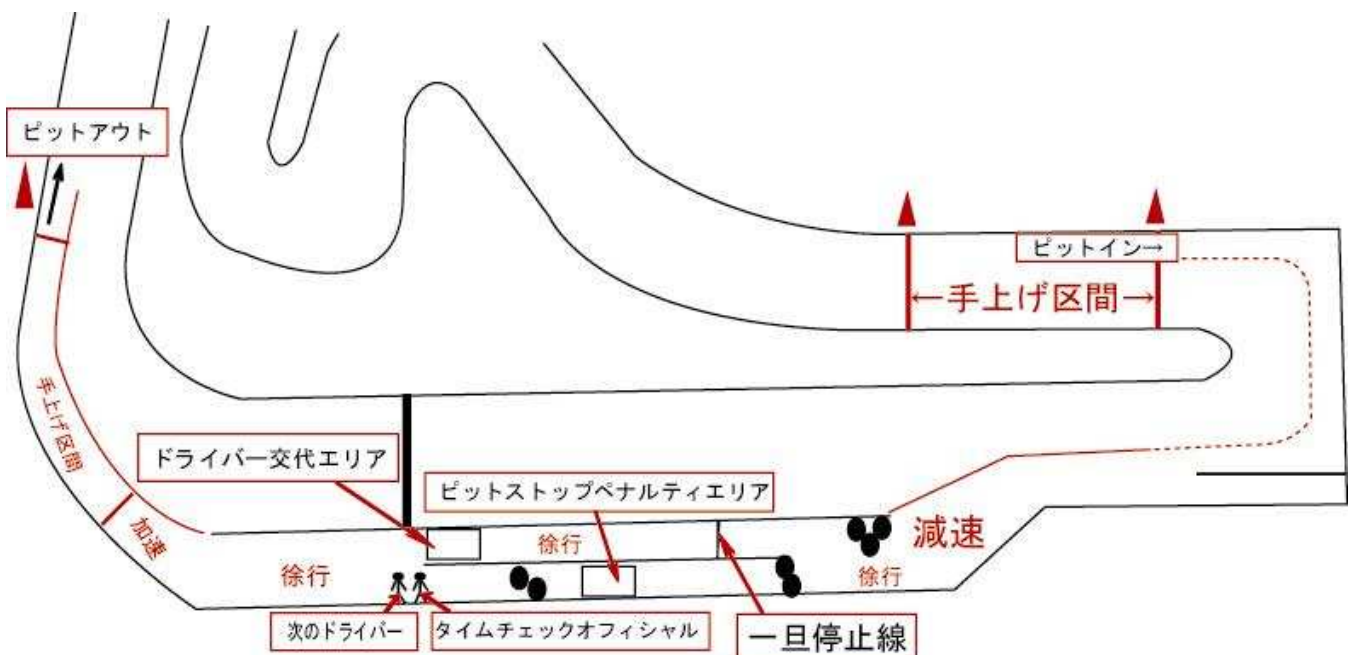
全てのペナルティはペースカー中には課さない。レーススピード中に課す。

1) 使用コース(スポーツカート阪奈)



黄旗解除線は、コース図の赤丸の2箇所

2) ピットについて



ピットは通常営業と同じ場所を使用する。

使用コースによってはピット位置を変更する場合がある。

但し、ピットイン入口は最終コーナーアウト側より行う。

ピット内は徐行とし、いつでもすぐに停止できる速度で走行すること。

ピットイン出来る条件

- a, ドライバー交代の場合
- b, ペナルティを受けた場合
- c, 車両トラブルの場合
- d, 競技終了の場合
- e, 体調不良の場合
- f, 背あてのマットがずれた場合

以上の場合のみピットイン出来る。上記以外の理由は認めない。

ピット内は一旦停止線とドライバー交代エリアの2箇所停止する場所があり、必ず停止しないとけない。

停止する際にタイヤをロックさせての停止、又はピット内でのスピン・接触はペナルティの対象となる。

ドライバー交代エリアではエンジンを停止し鍵を抜く事。

参加選手並びに参加申込時に届出のあったピットクルー（2名まで）以外はピットへの立ち入りは出来ない。

ピットイン・ピットアウト時は必ず片手(右手)を上げてコース走行車に合図すること。

ドライバー交代の合図はピット内やコース内以外の場所で行う事。

無線機及び携帯の使用を禁止とする。

4) ピットインについて

ピットインする際は必ず最終コーナー手前の「手上げ区間」にて**右手**をあげ、後方車両に合図をする。

ピットイン合図を行った車両は必ずピットに入ること。

最終コーナーアウト側よりピットインロードを通り、ピットインを行う。

タイヤ等に接触した場合はペナルティの対象となる。

ピットイン時、ピットインロードの点線をタイヤが超えた場合、ペナルティの対象となる。

但し、白線の場合はタイヤが白線を踏んだ場合もペナルティの対象となる。

5) ピットアウトについて

ピットアウトする際は、ピットアウトレーンを走行すること。

ピットアウトレーンの「手上げ区間」にて**右手**をあげ、コース走行車両に対しピットアウトを必ず知らせること。

コースに合流する際は、必ずコース合流ラインを通過してからコースに合流すること。ピットアウト時は白線内を通り、白線が切れてからコースに合流する。

タイヤ等に接触した場合はペナルティの対象となる。

ピットアウト時、ピットインロードの点線をタイヤが超えた場合、ペナルティの対象となる。

但し、白線の場合はタイヤが白線を踏んだ場合もペナルティの対象となる。

6) ドライバー交代方法について

ピットイン入口よりピットロードを徐行しピットインする。

ピットロード入口に進入する際は必ず安全を確認して行うこと。

ピット内タイヤバリアに接触した場合はペナルティの対象となる。

一旦停止線でカートを一旦停止させ交代エリアにカートを徐行で進める。

ピット内ではタイヤをロックさせての停止はペナルティの対象となる。

他の車両が一旦停止している際はその後ろにつき、前車が進んでから一旦停止線で停止し、前に詰めていく。

ピット内で他の車両に衝突した際は後方の車両にペナルティを課す。

交代はドライバー交代エリアに進入出来た車両のみ行うことが出来る。

一旦停止線より車両を進めて他の車両が交代している際は、エンジンを始動させたまま並ぶ。ドライバー交代エリアで停止したドライバーはエンジンを停止し、鍵を抜いて降車する。

抜いた鍵を持って タイムチェックオフィシャルに鍵を渡し、交代を報告する。

次のドライバーはタイムチェックオフィシャルの横で待つておくこと。

オフィシャルがチェック次第、次のドライバーに鍵を渡す。

鍵を受け取った次のドライバーは車両に乗車しエンジンを始動させ、ピットアウトする。

交代する車両がドライバー交代エリアに停止した際、次のドライバーがタイムチェックオフィシャルの横に準備が出来た状態でいない場合は、交代遅延行為としてペナルティの対象となる。

7) ペナルティを受けた場合

ペナルティを受けたチーム（ブラックフラッグとカートN.Oを提示）は速やかにピットインし、一旦停止線で停止後ドライバー交代エリアで停止する。

エンジンを停止し鍵を抜いて降車し、タイムチェックオフィシャルの場所に移動する。

オフィシャルよりペナルティの説明をする。

説明が終了した後、カートに乗車しピットアウトする。

ピットストップペナルティの場合は、オフィシャルにより「ピットストップペナルティエリア」に誘導する。

全てのペナルティはペースカー中には課さない。レーススピード中に課す。

レースで使用されるフラッグ（旗）

	<p>チェッカーフラッグ 競技終了。 チェッカーフラッグ後は追越禁止。クールダウン走行をし、ピットにもどる。 チェッカー後のスピヤやコースアウトはペナルティの対象とする。</p>
	<p>日本国旗 競技スタート</p>
	<p>グリーンフラッグ（緑旗） 競技再スタート。競技再開。 グリーンフラッグが提示され、コントロールライン通過後追越可能。 ペースカーが解除される場合によく使用される。</p>
	<p>イエローフラッグ（黄旗） 追越禁止。危険箇所を注意し回避せよ。 黄旗解除線までは追越しを禁止し危険箇所を安全に通過すること。 黄旗解除は黄旗解除線で黄旗が提示されていない場合とする。</p>
	<p>レッドフラッグ（赤旗） レース中断。 安全にピットにもどれ。場合によってはスタッフの誘導でコース上で停止させる場合がある。</p>
	<p>ブラックフラッグ（黒旗） ピットに入れ。 カートN.Oも同時に提示する。 ペナルティの対象となった車両に振られるが、車両異常とオフィシャルが判断した場合、点検の為に振られる場合がある。</p>

**ドライバーは必ず走行中オフィシャルより提示されるフラッグ見る義務があり、理解して行動出来る
と判断する。提示されているのに、理解出来なかった場合、見ていなかった場合はフラッグ無視と判
断する。場合によっては競技を棄権するように命じる。**

ペースカーについて

1) ペースカー導入について

「レース中」・「フリー走行中」・「予選中」必要に応じてペースカーが入りレーススピードをコントロールする場合がある。

その場合全コースで追越し禁止となり、ペースカーに追いついていなくても全車スロウダウンしなくてはならない。

尚、ペースカー導入中はコントロールラインでP.Cのサインボードを提示するので、提示があった場合、全車コントロールライン通過後は追越し禁止となる。

ペースカー導入時は順位に関係なくランダムに入る。

ペースカー導入中も連続走行時間に含まれることとする

ペースカー導入中もドライバー交代可能である。

コース上危険度により赤旗中断する場合がある。その場合、すみやかに全車ピットインすること。

レース中断後、状況によってはレースを中止することがある。その際、レース時間の3分の2以上経過している場合はその時点での結果を最終結果とする。3分の2未満の場合は、後日延期とし主催者側より延期日を発表する。

2) ペースカー（全コース追い越し禁止）解除について

コース上がクリアになった時点でペースカーがピットインする。

ペースカーがピットインした後もコントロールラインでグリーンフラッグが提示されるまでは追い越しを禁止する。また、その場合もコントロールラインまでは追い越しは禁止となる。

3) ペースカー中のドライバー交代について

ペースカー中、ドライバー交代は可能である。

但し、

「舞洲インフィニティサーキットの場合」

ドライバー交代時にタイムチェックオフィシャルへ鍵を渡す際、ペースカーが10コーナーから5コーナーまでの区間を走行している場合、次のドライバーは鍵を受け取れない。5コーナーをペースカーが通過後、タイムチェックオフィシャルより鍵を受取りスタートする。

タイムチェックオフィシャルより鍵を受け取ったドライバーはスタートできることとする。

ドライバー交代エリアで鍵をオフィシャルに渡した時間がドライバー交代時間とする。

但し、ドライバー交代エリアの後方で交代を待っているチームは待っている時間も連続走行時間に含まれる。

「スポーツカート阪奈の場合」

ドライバー交代時にタイムチェックオフィシャルへ鍵を渡す際、ペースカーが最終コーナーから3コーナーまでの区間を走行している場合、次のドライバーは鍵を受け取れない。3コーナーをペースカーが通過後、タイムチェックオフィシャルより鍵を受取りスタートする。

タイムチェックオフィシャルより鍵を受け取ったドライバーはスタートできることとする。

ドライバー交代エリアで鍵をオフィシャルに渡した時間がドライバー交代時間とする。

但し、ドライバー交代エリアの後方で交代を待っているチームは待っている時間も連続走行時間に含まれる。

フリー走行について

1) 走行時間

20分間

2) フリー走行中のドライバー交代について

連続走行時間の適用はないが、必ず各ドライバーが1度は走行すること。

フリー走行では練習の場として基本的にペナルティは取らないが、競技長の判断により過度の場合ペナルティを取る。場合によっては失格とする。

20分間は全チーム交代等の練習に励むこと。フリー走行途中終了は出来ないこととする。

予選について

- ・ レース開催1ヶ月前に発表する。

天候等の理由により予選方法の変更があった場合はドライバーズミーティングで発表する。

予選走行でペナルティを受けたチームは決勝のスタートはピットスタートとなる。

フリー走行や予選でペナルティを受けたチームは決勝レースのスタートではピットスタートとなる。

1回につきレーススタートしてから先頭車両がコントロールラインを通過後、10秒経過後にピットよりスタートする。(フォーメーションラップも行えない。)

決勝レースについて

1) 競技内容

120分耐久レース

2) 順位の決定について

走行周回とその周回を終了したタイムによって決定する。

3) スタート方法

グリットスタート方式（フォーメーションラップは状況により異なる。1～2周）

フリー走行や予選でペナルティを受けたチームは決勝レースのスタートではピットスタートとなる。

1回につきレーススタートしてから先頭車両がコントロールラインを通過後、10秒経過後にピットよりスタートする。（フォーメーションラップも行えない。）

4) 連続走行時間と交代回数について

1人のドライバーが連続して運転する時間は最大20分とし、120分で1チーム最低9回の交代をしなければならない。但し、ドライバー交代可能時間は競技スタート5分経過後～終了10分前までとする。
スタートドライバーは最低5分、最後のドライバーは最低10分は走行しなくてはならない。

5) ペナルティについて

ピットスルーペナルティ・・・

一旦停止線と交代エリアにて2回の停止を行う。交代エリアでは必ずエンジンを停止し、鍵を抜いてタイムチェックオフィシャルの説明を受けること。

ピットストップペナルティ・・・

ピットストップペナルティ場所にてエンジン停止後、ペナルティ時間をオフィシャルが計測する。
ピットストップペナルティの場合はピット内にてオフィシャルが誘導する。

ラップペナルティ・・・

競技終了3分前経過後にペナルティがあった場合に課す。競技終了後ラップ減算（-1LAPもしくは-3LAP）

6) 失格について

大会規則、競技規則違反によってアドバンテージを得た場合
他の参加者の安全を省みず行った危険行為
オフィシャルの指示を故意に無視した場合
LAPペナルティに当たる行為を繰り返した場合
ルールを遵守しようとせずマナーを守れない場合
他の参加者を非難したり中傷したりした場合

ペナルティについて

以下の項目についてペナルティを課すが、記載項目以外でも主催者が危険な行為と判断した場合はペナルティを課す場合がある。

尚、フリー走行、予選走行中のペナルティは全て決勝レーススタート時にピットスタートとして課す。

ブロッキング・プッシング・走路妨害（ピットスルーペナルティ）

ブロッキング・・・追い越そうとしている車両がいる時に、故意にラインを閉めて走行に影響をあたえた場合及び接触した場合。又はストレートでの大きなライン

変更。
プッシング・・・後方より前車両に追突し、前車両に走行に影響を与えた場合または故意に接触したと判断した場合。(又は、相手がスピンしなくても押した結果で順位変動があったと判断した場合。)
順位変動が無くとも取る場合がある。
走路妨害・・・故意的に蛇行走行をした場合。

コースショートカット (ピットスルーペナルティ)

故意にコース外を横断した場合(オフィシャルが判断した場合)。
コースよりも更に内側(コース外)に入り、追い越した場合。

安全確認義務違反 (ピットスルーペナルティ)

スピン・コースアウト・ピットアウト等の後、コースに復帰(合流)をする際、危険な行為をした場合、又は、危険な行為とオフィシャルが判断した場合。

ピットイン・アウトライン違反 (ピットスルーペナルティ)

ピットイン・アウトラインを片側前後どちらかのタイヤがラインを越えコースに侵入した場合。
ラインを踏んだ状態は対象とならない。
但し、スポーツカート阪奈での場合は白線の箇所は、ラインを踏んだ場合はペナルティとする。

ピットイン・アウト合図違反 (ピットスルーペナルティ)

ピットイン、もしくはピットアウトする際、コース走行車両に対し合図を行わなかった場合、もしくは、オフィシャルが合図無しと判断した場合。分かりやすいように合図すること。
ピットイン合図を行ったが、ピットインしなかった場合。

ピットロード徐行違反 (ピットスルーペナルティ)

ピット内でのタイヤロック又はスピン・接触をした場合。又は、速度が速いと競技長が判断した場合。
パイロンやタイヤバリアに接触した場合。

ピット内一旦停止違反 (ピットスルーペナルティ)

ピット内2ヶ所の停止場所にて停止しなかった場合。停止する際にタイヤロック又はスピン・接触をした場合。

連続乗車時間違反 (ピットスルーペナルティ)

一人の連続走行時間が20分を超えた場合。
最終ドライバーも適用される。

交代回数違反 (ピットストップペナルティ 1回につき30秒)

120分間の耐久で競技終了残り10分を経過した時点でドライバー交代回数が9回以上行っていないチームで課す。1回につき30秒ピットストップする。

交代遅延行為 (ピットスルーペナルティ)

ドライバー交代の際、交代エリアに車両が停止した時に次のドライバーがタイムチェックオフィシャルの横に待機していない場合、又は乗車準備が出来ていない場合。

サインボード違反 (ピットスルーペナルティ)

サインボードエリア提示禁止エリアにてサインを提示した場合

フライング (ピットスルーペナルティ)

スタート時にフライングした場合

黄旗 (イエロー) 違反 (ピットスルーペナルティ)

追越禁止区間において追い越しを行った場合。又はスピン・コースアウトした場合

フラッグ無視 (ピットストップペナルティ 30秒) 競技終了3分前を経過してからは3LAP減算

オフィシャルが提示しているフラッグを無視した場合

Wチェッカー (ラップペナルティ 3Lap減算)

チェッカーフラッグを見逃し、チェッカーを2度受けた場合に課す。
最終結果より3周減算をし、同一周回がいた場合は同一周回の下位となる。

徐行制限中のスピン (ピットスルーペナルティ)

徐行制限中(追越禁止区間又はフォーメーションラップ時、チェッカー後)にスピン・コースアウトをした場合

車両交換について

車両交換は「車両交換エリア」からのスタートとする。

車両交換の決定は全て競技長が行うとする。

車両交換エリアからスタートする際に、ドライバー交代エリアにてドライバー交代は可能とする。

ドライバー交代を行わない場合であっても、必ずドライバー交代エリアでエンジンを停止し、鍵を抜いてタイムチェックオフィシャルに「車両交換のみ」と伝えること。

車両状況が良くないと競技長が判断した場合、カート交換を命ずる場合がある。

競技終了10分前を経過した時点からのカート交換は行わない。その時点で競技終了とする。

レース中にアクシデント等で走行不能になった場合、基本的にペースカーが導入され車両をピットまで回収し、オフィシャルが修理を行うが、すぐに修理不能の場合はレース車両回収後、乗車していたドライバーが車両交換エリアにて予備カートに乗り換え、ピットからスタートする。

予備カート走行中に修理が完了した場合、次のドライバー交代時に元の車両へ乗車する。

交換車両の選択は出来ない。

以上